

2023年度

## 「音楽Ⅰ」シラバス

沖縄県立八重山商工高等学校

教科	芸術	単位数	2
学科	全学科	学年・組	1年全クラス
使用教科書	音楽Ⅰ Tutti+ (教育出版)		

## 「音楽Ⅰ」とはこんな科目です (科目の概要と学習目標)

世界の国々、島々にはその土地の歴史や風土から生まれた音楽があります。その多様性を理解し、創意工夫して表現できる技能を身に付け、またその良さや美しさを味わって聴くことができるよう学習します。

生涯にわたり音楽を愛好し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を育みます。

## 授業の進め方

\*主体的・協働的に活動に取り組めるようアクティブラーニングの充実を図ります。

\*自分の思いを音楽で表現することが大切です。発表の機会を設定します。

## 「音楽Ⅰ」の評価の基準

評価の観点	内 容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授業の中で評価する。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっているか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
音楽表現の知識技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業の中や定期試験で評価する。
以上の事項を総合的に判断し評価します		

【学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか）】

学期	月	題材名・単元名	時間	教材
1	4	① オリエンテーション ～授業を楽しく学ぶために～	1	○シラバス
	5	② 校歌を歌おう	5	○校歌 ○声という大切な楽器
		③ クラスの歌声を響かせよう	5	○翼を下さい ○涙そうそう
	6	④ 三線を弾こう	7	○ていんさぐぬ花
		⑤ 三線アンサンブルを楽しもう	6	○涙そうそう
	7	⑥ 世界のさまざまな音楽の魅力	3	○世界の声の音楽 ○世界の楽器の音楽
		⑦ 楽曲紹介文	6	○西洋音楽史
	⑧ 1学期のまとめ	1	○1学期に学習した教材 ○学習のまとめのワークシート ○夏休み中の課題「音楽鑑賞～私の好きな曲～」	
2	9	① ギター弾き語りに挑戦しよう	13	Start Up Playing the Guitar ○楽典（コードネーム） ○ギター&キーボード・コード表 ○翼をください
	10			
	11	② リズム創作	3	
	12	③ 音楽会に向けて（選曲）	2	○教科書の中から選曲曲
④ 2学期のまとめ		1	○学習のまとめのワークシート ○2学期に学習した楽曲	
3	1	① 音楽会を開こう ～音楽1のまとめとして～	10	○選曲曲
	2	② 卒業式の歌	3	○校歌
	3	③ 終業演奏会	3	○卒業式在校生の歌
		④ 1年間のまとめ	1	○学習のまとめのワークシート ○音楽1で学習した楽曲
合計			70	



2023 年度

## 「 郷土の音楽 」シラバス

沖縄県立八重山商工高等学校

教科	芸術	単位数	2
学科	観光コースを除く学科	学年・組	2年選択
使用教科書	八重山古典民謡上・下（大濱安伴 編著） 他 関連教材		

## 「郷土の音楽」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

八重山古典民謡は、沖縄本島の琉球古典音楽とは違う独特の特色があります。八重山の文化的遺産としての八重山古典民謡の三線の弾き方や発声法等を基礎から学び、方言の歌詞の意味、その歌にかかわる歴史的背景についても学習します。また、三線なしで歌われる「古謡」についても学習します。

郷土の音楽を通して郷土への愛と誇りを高め、それが他国の音楽や文化をも尊重する態度を育みます。

## 授業の進め方

\*主体的・協働的に活動に取り組めるようアクティブラーニングの充実を図ります。

\*自分の思いを音楽で表現することが大切です。発表の機会を多く設定します。

## 「郷土の音楽」の評価の観点

評価の観点	内 容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授業の中で評価する。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっているか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
音楽表現の知識技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業の中や定期試験で評価する。
以上の事項を総合的に判断し評価します		

【学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか）】

学期	月	題材名・単元名	時間	教材
1	4	① オリエンテーション	1	○オリエンテーション資料
		② 基本の復習	1	○ていんさぐぬ花
	5	③ 八重山古典民謡	14	○安里屋ゆんた○デンサー節○鷲ぬ鳥節 ○鶴亀節○めでたい節
	6	④ 現代の沖縄音楽	6	○選択自由曲
	7	⑤ 1学期の音楽学習のまとめ	2	○1学期に学習した教材 ○夏休みの課題レポート：八重山の豊年祭・アンガマについて調べる。
2	9	① 2学期の音楽学習に向けて	3	○夏休みの課題の発表とまとめ ○1学期の復習
	10	② 民謡発祥地巡り	15	民謡を発祥地ごとにグループ分けし、演奏と歴史的背景等について調べ学習をする。
	11			○繁盛節○あんぱるぬみだがまゆんた○赤馬節○しんだすり節○桃里節
	12	③ 音楽会を開こう	9	○選択自由曲
		④ 2学期の音楽学習のまとめ	2	○学習のまとめのワークシート ○冬休みの課題：「終業演奏会」選択曲の練習
3	1	⑤ 音楽会を開こう	7	○選択自由曲
	2			
	3	⑥ 他国の民俗音楽	10	○ガムラン○サンバ○ケチャ ○アリラン
合計			70	

2023年度

## 「音楽Ⅱ」シラバス

沖縄県立八重山商工高等学校

教科	芸術	単位数	2
学科	観光コース以外	学年・組	3年選択
使用教科書	MOUSA2（教育芸術社）		

## 「音楽Ⅱ」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

「音楽Ⅰ」の学習経験を基盤として、更に豊かな音楽活動をしていくために必要となる知識や技能を身につけていきます。また、表現や鑑賞したりする音楽の楽しみ方に加えて、楽曲の背景にある文化や社会との関わりといった多様な視点からの音楽学習の楽しみ方を追求していきます。

これらの取り組みによって、生涯にわたって音楽を愛好し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養います。

## 授業の進め方

\* 「音楽Ⅰ」で身につけた表現の能力を個性豊かな表現の能力に伸長できるよう、独唱（奏）、アンサンブル、合唱（奏）等の様々な規模、形態の表現活動を取り入れます。

\* 音楽文化と他の文化との関わりについて理解を深められるようレポート学習をします。

## 「音楽Ⅱ」の評価の観点

評価の観点	内容	評価方法
音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授業の中で評価する。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっているか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業の中や定期試験で評価する。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し理解を深めて、音楽のよさや美しさを味わえたか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
以上の事項を総合的に判断し評価します		

【学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか）】

学期	月	題材名・単元名	時間	教材
1	4	① オリエンテーション	1	○シラバス
	5	② ソロやアンサンブルを楽しもう ・楽典 ・歌唱	16	○教科書の中からの選択曲 ○楽典 ○糸・ハナミズキ・上を向いて歩こう
	6	③ リズムアンサンブル	8	○Prelude I
		④ 夏休みの課題	2	○八重山の豊年祭・旧盆 ○DVD 教材
	7	⑤ 1学期の音楽学習のまとめ	1	○学習のまとめのワークシート
2	9	① 郷土の文化 八重山の豊年祭・旧盆	15	○三線を弾こう ・ていんさぐぬ花 ・涙そうそう ・自由曲
	10			
	11	② 音楽を鑑賞する際に	4	○ベートーヴェンの生涯と作品をたどろう
	12	③ 音楽会に向けて	12	○自由曲の選曲
		④ 2学期の音楽学習のまとめ	1	○学習のまとめのワークシート ○冬休みの課題：音楽会の練習
3	1 2 3	① 音楽Ⅱのまとめ ～音楽会を開こう～	10	○自由曲の演奏発表
合計			70	

2023 年度

## 「郷土の舞踊」シラバス

沖縄県立八重山商工高等学校

教科	芸術	単位数	2
学科	観光、電気コース以外	学年	2年
使用教科書	関連教材		

## 「郷土の舞踊」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

八重山は「歌と踊りの島」とも呼ばれ芸能が盛んな地域です。八重山舞踊を基礎から学び、方言の歌詞の意味、その歌にかかわる歴史的背景についても学習します。また、三線なしで歌われる「古謡」や日常会話の方言についても学習します。

郷土の芸能を通して郷土への理解や誇りを高めます。

## 授業の進め方

\*地域の舞踊指導者を講師に迎え指導します。

\*主体的・協働的に活動に取り組めるようアクティブラーニングの充実を図ります。

## 「郷土の舞踊」の評価の観点

評価の観点	内 容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	芸能活動の喜びを味わい、芸能や文化に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授業の中や提出物で評価する。
芸能表現の創意工夫	芸能を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫し、表現意図を持っているか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
芸能表現の知識技能	創意工夫を生かした表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業の中や定期試験で評価する。

以上の事項を総合的に判断し評価します



【学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか）】

学期	月	題材名・単元名	教材
1	4	① オリエンテーション	○オリエンテーション資料
	5		○ていんさぐぬ花
	6	② 八重山舞踊	○鷲ぬ鳥節      ○竹富クイチャー
		③ 沖縄の行事・文化について	○浜下り   ○清明祭   ○ハーリー
	7	④ 八重山のまつり	○豊年祭○旧盆
	⑤ 1学期の学習のまとめ	○1学期に学習した教材 ○夏休みの課題レポート：八重山の豊年祭・アンガマについて調べる。	
2	9	① 2学期の学習に向けて	○夏休みの課題の発表とまとめ
	10		○1学期の復習
			○2学期の計画について
	11	② 八重山舞踊	○まみとーま   ○安里屋 ○竹富クイチャー
③ 文化祭に向けて		○これまで学習してきた教材舞踊	
12	④ 2学期の学習のまとめ	○学習のまとめのワークシート	
3	1	① 古謡	○こいなユンタ○山ばれーユンタ ○あんぱるぬみだがーまユンタ
	2	② 方言であいさつ	○自己紹介、基本的あいさつ
	3	③ 郷土の舞踊のまとめ	○1年間で取り扱った教材

2023 年度

## 「郷土の芸能」シラバス

沖縄県立八重山商工高等学校

教科	芸術	単位数	2
学科	観光コース	学年	2年
使用教科書	八重山古典民謡上・下（大濱安伴 編著） 他 関連教材		

## 「郷土の芸能」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

八重山は「歌と踊りの島」とも呼ばれ芸能が盛んな地域です。八重山古典民謡の三線の弾き方などを基礎から学び、方言の歌詞の意味、その歌にかかわる歴史的背景についても学習します。また、三線なしで歌われる「古謡」や八重山舞踊、日常会話の方言についても学習します。

郷土の芸能を通して郷土への理解や誇りを高め、観光資源として活かしていく方法も考えます。

## 授業の進め方

\*地域の三線指導者を講師に迎え、音楽教師と2人で指導します。

\*観光コースと連携をとりながら授業を進めます。

\*主体的・協働的に活動に取り組めるようアクティブラーニングの充実を図ります。

## 「郷土の芸能」の評価の観点

評価の観点	内 容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	芸能活動の喜びを味わい、芸能や文化に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授業の中や提出物で評価する。
芸能表現の創意工夫	芸能を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫し、表現意図をもっているか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
芸能表現の知識技能	創意工夫を生かした表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業の中や定期試験で評価する。
以上の事項を総合的に判断し評価します		

【学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか）】

学期	月	題材名・単元名	教材
1	4	① オリエンテーション	○オリエンテーション資料
	5		○ていんさぐぬ花
	6	② 八重山古典民謡	○鷲ぬ鳥節○ 安里屋ゆんた○デンサー節○鶴亀節 ○めでたい節
	7	③ 沖縄の行事・文化について	○浜下り○ミンサー○ハーリー
	7	④ 八重山のまつり	○豊年祭○旧盆
		⑤ 1学期の音楽学習のまとめ	○1学期に学習した教材 ○夏休みの課題レポート：八重山の豊年祭・アンガマについて調べる。
2	9	① 2学期の学習に向けて	○夏休みの課題の発表とまとめ
	10		○1学期の復習 ○2学期の計画について
	11	② 八重山舞踊	○まみとーま○鷲ぬ鳥○安里屋ゆんた ○竹富クイチャー
	12	③ 文化祭に向けて	○これまで学習してきた教材曲
		④ 2学期の音楽学習のまとめ	○学習のまとめのワークシート
3	1	① 古謡	○こいなユンタ○山ばれーユンタ ○あんぱるぬみだがーまユンタ
	2	② 三線（二揚曲）	○月ぬ美しゃ
	2	③ 三線（早調子）	○繁盛節
	3	④ 郷土の芸能のまとめ	○1年間で取り扱った教材

2023年度

## 「音楽Ⅱ」シラバス

沖縄県立八重山商工高等学校

教科	芸術	単位数	2
学科	電気、観光コース以外	学年・組	2年選択
使用教科書	音楽Ⅱ Tutti+ (教育出版)		

## 「音楽Ⅱ」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

「音楽Ⅰ」の学習経験を基盤として、更に豊かな音楽活動をしていくために必要となる知識や技能を身につけていきます。また、表現や鑑賞したりする音楽の楽しみ方に加えて、楽曲の背景にある文化や社会との関わりといった多様な視点からの音楽学習の楽しみ方を追求していきます。

これらの取り組みによって、生涯にわたって音楽を愛好し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養います。

## 授業の進め方

\* 「音楽Ⅰ」で身につけた表現の能力を個性豊かな表現の能力に伸長できるよう、独唱（奏）、アンサンブル、合唱（奏）等の様々な規模、形態の表現活動を取り入れます。

\* 音楽文化と他の文化との関わりについて理解を深められるようレポート学習をします。

## 「音楽Ⅱ」の評価の観点

評価の観点	内容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授業の中で評価する。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっているか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
音楽表現の知識技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業の中や定期試験で評価する。
以上の事項を総合的に判断し評価します		

【学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか）】

学期	月	題材名・単元名	時間	教材
1	4	① オリエンテーション	2	○Tomorrow ◆Review of Basics ①音の名前 ◆Review of Basics ①音の速さを表そう ◆人の身体がもつ楽器
	5	② ソロやアンサンブルを楽しもう	14	○選択自由曲
	6	③ 混声合唱を美しく響かせよう	6	○大きな古時計
	7	④ 夏休みの課題	1	○交響曲、協奏曲、吹奏楽等の中から1曲について調べてくる。
		⑤ 1学期の音楽学習のまとめ	1	○1学期に学習した教材 ○学習のまとめのワークシート
2	9	① 2学期の音楽学習に向けて	2	○夏期休業中の課題 ○島唄
	10	② 交響曲の仕組みを探ろう	2	◎交響曲第40番ト短調 ◆音楽史と史実
		③ 協奏曲の魅力を探ろう	2	◎ピアノ協奏曲第1番
	11	④ アメリカ大陸育ちのクラシック音楽	3	◎ラプソディ・イン・ブルー ◎ウエストサイド物語
		⑤ 吹奏楽の魅力を味わおう	2	◎オリエン特急行
	12	⑥ オーケストラの魅力を味わおう	2	◎ペール・ギュント第1組曲
		⑦ 演奏家と楽器が生み出す音楽の魅力	4	◎アルハンブラの思い出
		⑧ 物語と音楽との関わり	4	◎キャッツ
		⑨ 和楽器の音と世界の楽器の音楽	10	○三線 ていんさぐぬ花 ◆世界のさまざまな音楽の魅力
		⑩ 2学期の音楽学習のまとめ	2	○学習のまとめのワークシート ○冬休みの課題：音楽会の練習
3	1	① 音楽Ⅱのまとめ	13	○自由曲の演奏発表
	2	～コンサートを開こう～		
	3			
合計			70	



## 書道 I シラバス

書道 I	単位数	2 単位
	学科・学年・学級	2 年生選択（観光コース以外）

### 1 学習の目標

学習の目標	<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書・副教材等	教育出版「書道 I」

### 2 学習計画

#### (1) 年間指導計画案

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	学習活動例
四月	書写から書道へ	書写で学んできたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校書写で学習したことの確認として、楷書と楷書に調和する仮名について学習する。</li> <li>・ 中学校書写で学習したことの確認として、行書と行書に調和する仮名について学習する。</li> <li>・ 中学校書写で学習したことの確認として、配列の基本について確認する。</li> </ul>
		コラム：用具・用材の製造方法 用具・用材	・ 書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。
		姿勢・執筆法・古典に基づく学習	・ 基本の姿勢、執筆法、後片付けについて、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。
	漢字の書	漢字の成立と変遷	・ 漢字の成立と変遷について理解する。
		拓本と碑について	・ 臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。
		楷書の学習 表現を比べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。</li> <li>・ 「九成宮醜泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、それぞれの文字から受ける印象について考える。</li> <li>・ 「九成宮醜泉銘」と「孔子廟堂碑」の特徴を表現する言葉を選び、説明する。</li> </ul>
五月 ～ 九月	楷書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「九成宮醜泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」 コラム：唐の四大家 「牛橛造像記」 参考：「隅寺心経」</li> <li>・ 楷書の古典を臨書する意義について理解する。 ※「人物と時代」なども活用する。</li> <li>・ 楷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。</li> <li>・ 楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 ※「字形と筆順」なども活用する。</li> <li>参考 ・ 楷書小字作品としての写経について理解を深める。</li> </ul>	
五月	行書	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書の学習 コラム：王羲之</li> <li>・ 行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。</li> <li>・ 行書の特徴を理解する。</li> </ul>	

漢字の書	「蘭亭序」 「争坐位文稿」 「風信帖」 コラム：三筆から三跡へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書の古典を臨書する意義について理解する。</li> <li>※「人物と時代」なども活用する。</li> <li>行書の古典を鑑賞し、その美について理解する。</li> <li>行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。</li> <li>※「字形と筆順」なども活用する。</li> </ul>	
	③ 草書 草書の学習 書譜	<ul style="list-style-type: none"> <li>草書が成立する過程や草書の特徴について理解する。</li> <li>「真草千字文」を鑑賞し、その美について理解する。</li> <li>「真草千字文」の臨書を通して、草書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。</li> </ul>	
	② 隷書 隷書の学習 「曹全碑」	<ul style="list-style-type: none"> <li>隷書が成立する過程や隷書の特徴について理解する。</li> <li>「曹全碑」を鑑賞し、その美について理解する。</li> <li>「曹全碑」の臨書を通して、隷書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。</li> </ul>	
	① 篆書 篆書の学習 コラム：始皇帝と文字 「泰山刻石」 篆刻・刻字の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆書が成立する過程や篆書の特徴について理解する。</li> <li>「泰山刻石」を鑑賞し、その美について理解する。</li> <li>「泰山刻石」の臨書を通して、篆書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。</li> </ul>	
	漢字の書の制作 仮名の書の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価をする。</li> <li>近現代の作品を鑑賞する。</li> </ul>	
十月 ～ 十二月	仮名の書	仮名の成立と発達 仮名の種類、姿勢、執筆 基本的な筆使い 平仮名の単体 変体仮名 連綿	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮名の用具・用材の特徴について理解する。</li> <li>仮名の基本的な線について理解し、練習する。</li> <li>平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。</li> <li>変体仮名について理解し、練習する。</li> <li>連綿について理解し、練習する</li> </ul>
		「蓬萊切」 「高野切第三種」 「関戸本古今和歌集」	<ul style="list-style-type: none"> <li>平安時代の代表的な古筆を臨書する意義について理解する。</li> <li>※「人物と時代」なども活用する。</li> <li>古筆を鑑賞し、その美について理解する。</li> <li>古筆の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。</li> <li>※「字形と筆順」なども活用する。</li> </ul>
		全体構成 参考：三色紙の散らし書き	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書きの構成について理解し、練習する。</li> <li>散らし書きの構成について理解し、練習する。</li> <li>三色紙について鑑賞し、それぞれの特徴について理解する。</li> </ul>
		創作 —古筆を生かそう— 鑑賞 —書の美や風趣を味わおう— コラム：受け継がれる古筆	<ul style="list-style-type: none"> <li>創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古筆の特徴や技法を生かして、行を構成し、創作し、相互評価をする。</li> <li>近現代の作品を鑑賞する。</li> <li>古筆の形態の違いについて理解する。</li> </ul>
		漢字仮名交じりの書の変遷	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。</li> </ul>



一月 〜 三月	漢字仮名交じりの書	<p>表現を比べよう</p> <p>表現の工夫 1 古典を生かした表現</p> <p>表現の工夫 2 線による表現の広がり</p> <p>表現の工夫 3 用具・用材による表現</p> <p>表現の工夫 4 紙面構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解する。</li> <li>・文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけられることを理解する。</li> <li>・書き方の工夫によってさまざまな表現ができることを理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうか考える。</li> </ul>
		<p>創作</p> <p>一言葉と書を調和させよう</p> <p>鑑賞</p> <p>一書の美や風趣を味わおう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価をする。</li> <li>・近現代の作品を鑑賞する。</li> </ul>
	生活に広げる	<p>生活に広げる</p> <p>コラム：著作権</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・便箋や封筒の宛名、履歴書など、改まった場面で使われる書式について理解し、場面に応じて書く。</li> <li>・はがきやカードなど、身近な場面で気持ちを伝えるために書くものについて理解し、自分たちの創意を生かして書く。</li> <li>・街中や身近な生活の中で生かされている書を探し、自分たちの生活でどのように生かすことができるかについて考える。</li> <li>・著作権について理解する。</li> </ul>
	資料	<p>書道用語 200</p> <p>書道史略年表</p> <p>書を見に行こう</p> <p>鑑賞の言葉を広げよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書式の教室</li> <li>・書道略年表</li> <li>・博物館や美術館に行ってみよう</li> <li>・日本・中国書道史参考地図</li> </ul>

評価	<p>評価は具体的に次のものを対象にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現を工夫して表した成果（作品）</li> <li>・表現の意図・構想・表現の工夫の取り組み</li> <li>・考えたことや意見交換の記録</li> <li>・発言（活動の様子）と、その記録</li> <li>・作品制作への取り組み状況（活動の様子）</li> <li>・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意見発表等）</li> </ul> <p>1年間の評定は上記の内容を総合的に判断する。</p>
----	---